



TITLE:

# 京都大学「教育とコミュニケーション」授業概要

AUTHOR(S):

CITATION:

京都大学「教育とコミュニケーション」授業概要. 京都大学高等教育叢書 2000, 7: 147-153

ISSUE DATE:

2000-03-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/53639>

RIGHT:

## ●京都大学「教育とコミュニケーション」授業概要

### ① 4 / 14 (担当：全員)

- ・「教育とコミュニケーション」のオリエンテーションがおこなわれました。
- ・まず、授業のテーマと簡単な目的、合宿のこと、授業の計画と内容、成績評価、留意事項などについて神藤が話しました。

計画は、以下の通り。

4 / 21：アイスブレイキング

自己紹介、井下ゼミ（論文集）の紹介

4 / 28, 5 / 12：田中

5 / 19, 26：大山

6 / 16：神藤

6 / 18, 19, 20：慶應・京都合同合宿

6 / 23, 30：石村

7 / 7：田中・石村・大山・溝上・神藤

最終的に論文集作成（夏休み明け）

- ・その後、田中が、

#### ○集中ゼミの意味

自己相対化と自己肯定と自己生成

#### ○連携の意味

自己相対化と自己肯定と自己生成の仕掛けとして

学校文化の差異

#### ○メディアを利用することの意味

3つのリアリティ：慶應、京都、WWW

#### ○実験ゼミであることの意味

全員がモルモットであり実験者

などについて話しました。

- ・各教官（田中毎実、石村雅雄、大山泰宏、溝上慎一、神藤貴昭）および研修員（田口真奈）の自己紹介がありました。

- ・なお、人数を超過したので、簡単な作文により、人数制限をしました（4 / 15受講者22名決定）。

### ② 4 / 21 (担当：全員)

- ・まず神藤が以下のことを説明しました。

#### ○おもな授業の流れ

授業を受ける→神藤がその授業をKKJホームページの京都大学の授業概要のページに簡単にまとめる→みなさんがその授業へのコメントを書く→だれかの意見へのコメントをさらに書いたり、慶應のページにもおじゃまする（相手の意見を尊重すること）。

授業2回に1回以上コメントしてください。

その他、4 / 14に配布した資料をよく読んでおいてください。

#### ○ホームページアドレスについて

#### ○ホームページに入るときの名前とパスワードについて

#### ○倫理要綱

とりあえず通産省のもの。よく読んでおいてください。

- ・次に、石村と神藤から、慶應義塾大学総合政策学部井下ゼミと出されている論文集（98年度版）について紹介

しました。

- ・さらに、懇親会に入り、ビール片手に？学生が自己紹介をしました。「大学と私」というテーマでした。
- ・ここで、ハンドルネームで投稿するか本名で投稿するかという議論が起きました。パスワードにより、外部からシャットアウトされているのであるが、ハンドルネームを使う方が意見を言いやすいという意見なども出されました。
- ・そのほか、合宿の話などがおこなわれました。

### ③ 4 / 28 (主要担当：田中)

- ・まず以下のことがなされました (神藤)。
  - 教官側の自己紹介文配布
  - 合宿宿泊先案内配布 (次回どうやって伊東まで行くかアンケートをとります)
  - 共通課題のページに話したいこと聞きたいことを書き込もう (その中で自然に話題別グループ、まとめ役ができるでしょう)
  - 原則として書き込みは本名でおこなうことの決定
- ・次に、田中から平成9年度授業「ライフサイクルと教育」より話題提供がありました。
  - 授業検討会について
  - 何でも帳 (授業後に書かれた学生のコメントとそれへの教官の応答) の抜粋：授業テーマが異なってもコメントのテーマが一貫している学生の例など。
  - 「ライフサイクルと教育」と異なりこの授業は全員がコミットできそうであることなど。
- ・学生からの意見 (抜粋)
  - 授業と電子会議室の差が分かりにくい
  - 「オタク」議論
  - 「オタク」(そのコミュニケーションの在り方) について話したい。
  - 「オタク」はその世界の中での競争がある。
  - スポーツをやっている詳しい人は「オタク」と呼ばれないのはなぜ。
  - 対象が人か人工的なものかの違いか。
  - ほかの趣味を持つ人とはしゃべれない人。
  - 大学にいる研究者は権威づけされた「オタク」。
  - ほかの人を積極的に排除するのではなく、見ないふりをしている。
  - 「オタク」も基本的にはコミュニケーションしたい。
  - 共通の話題を作りにくい人。
  - 「オタク」の知の独占はいいのか。「開かれている」ことが必要。
  - 「オタク」は世間から与えられた評価。先入観がある。
  - 議論の仕方について
  - 「オタク」の話から大学論や人づきあいの話に発展してゆくのがおもしろい。
  - 広がりすぎると議論しにくいのではないか。
  - グループ分けする方がよい。少人数の方が楽な人も。
  - 何とか自分の興味との接点を見い出すのも意義がある。
  - 授業では広い話題、電子会議室では深く込み入った議論をしよう。
  - 初めは広くだんだん伊東に向けて深く。
  - テーマをかつちりと設定すべきか。賛成派、反対派というふうな分け方はどうか。

いろいろ議論は続きました。

④ 5 / 12 (主要担当：大山)

・合宿について

○合宿先の変更（ラフォーレ伊東→ラフォーレ修善寺）。

○合宿先までどうやって行くか。貸し切りバス、定期夜行バス、新幹線（団体か学割か）を学生、教員で分担して検討。

○合宿で慶應湘南藤沢キャンパスを見学することについて、合宿のページで議論の続き（何をやりたいか、何を見たいかなど）をしてください。

・自己紹介文をホームページ上に載せることについて。さらに授業概要のページで議論してください。

・ボディーワーク：天気も良かったので、屋外（人間・環境学研究科のピロティ）に出て、ボディーワーク（以下）をおこないました。

○言語ではなく、身体による人とのコミュニケーション体験を試みるために、以下のようなボディーワークをおこないました。

お互いに手をふれ合う。

2人ペアをつくって、お互い体をまかせて倒れ合う。

ブラインドウォーク：2人ペアで、1人はタオルやハンカチで、目隠しをし、もう1人は無言で誘導して歩く（階段など段差のあるところを含めて）。

○このときの感想を授業概要のページに書き込んでください。

・来週の授業について

○今日ボディーワークをおこなった場所（人間・環境学研究科のピロティ）に集合（雨天決行）。

○各自、目隠し用のハンカチかタオルを持ってきてください。

○動きやすい服装で来て下さい。

⑤ 5 / 19 (主要担当：大山)

・合宿について

合宿について検討しました。検討結果については掲示板に掲載される予定です。

合宿で話したいこと、聞きたいことなども掲示板で議論してください。

・メーリングリストについて

京都大学事務連絡専用のメーリングリストを作るかどうかを検討しました。その結果、基本的にはすべて掲示板を利用することになりました。

・各自の電話番号とメールアドレスの交換がおこなわれました。

・ボディーワーク

先週に引き続き、屋外（人間・環境学研究科前のピロティ）でボディーワーク（「天国への階段」）をおこないました。「天国への階段」とは、10人くらいの人が1人をゆっくりと、高く持ち上げるというものです。

・来週の授業について

○今日ボディーワークをおこなった場所（人間・環境学研究科前のピロティ）に集合（雨天決行）。

○各自、目隠し用のハンカチかタオルを持ってきてください。

○動きやすく、かつ汚れてもよい服装で来て下さい。

⑥ 5 / 26 (主要担当：大山)

・集合と事務的連絡

○先週に引き続き屋外（人間・環境学研究科前）で集合しました。

○自己紹介をHPに載せるかどうか、コンパについて話し合いました（その結果をHPに載せてください）。

○合宿前金（1万円）については、今週金曜日までに楽友会館2階の高等教育教授システム開発センターの「センター長室」の事務の方（石渡さんか岡田さん）に渡してください。留守の場合は、神藤ほかセンターの

研究室までお願いします。

○合宿係（S君）、会計係（C君）、コンパ係（Kさん）が決定しました。

○飲み会情報もHPをお願いします。

・ボディーワークをおこないました。

○まず、目隠しをして、手の感触だけで、いいなと思った人とペアをつくりました（いいなと思った人に非言語的な「信号」を送る）。

○その後、そのペアでストレッチ体操をおこないました。

○さらに、そのペアで、目隠しした相手を指先の感触だけで誘導して階段を降りるということをしました。

○最後にそのペアで、目隠しした相手をまたまた指先の感触だけで誘導して、京大のそばにある吉田神社へ行き、「手水舎」で手を洗い、さらに47段の石段をのぼりました。

・次週について

○次週は、楽友会館でおこないます。

○次週は、合宿に向けて、ボディーワークで得たことを踏まえつつ、電子掲示板上でおこなわれている議論を少しまとめてみる予定です。

#### ⑦ 6 / 2（主要担当：田中）

・合宿の費用・交通について

○往復1人15280円持ってきてください

○合宿の前金10000円まだ持って来ていない人は、センターの事務（センター長室）の方か神藤ほかスタッフ研究室まで持ってきてください

○いまのところ、新幹線は、

往き（6月18日）

：ひかり154号（京都8時50分発、三島10時56分着）

帰り（6月20日）

：ひかり169号（三島16時25分発、京都18時29分着）

となる予定ですが、切符の都合で変更する可能性があります。

・合宿について

○楽観派と悲観派（タスク派とプロセス派）

○スケジュール（出会いから別れまで）について

○組分けして議論すること

○流れを合宿係さんが考案中（それ以外の人も意見を掲示板にお願いいたします）

○何を話したいかレジュメを作ってきてください

○（日本の）コミュニケーションについて

○ガイドライン法案について

・授業について

○論文を作るか？

○目的が分かりにくい

・お知らせ

来週、慶應義塾大学OBで、現在、北陸先端科学技術大学院大学の尾澤さん、慶應大学の井上さん、磯松さんが来られます。

#### ⑧ 6 / 9（主要担当：田中）

・まず、北陸先端科学技術大学院大学で慶應義塾大学OBの尾澤さんと、慶應義塾大学4年生の磯松さんが授業に来られたので、お2人が自己紹介をしました。

おみやげの「金沢の月」をみんなでいただきました（ありがとうございました）。

遠路おつかれさまでした。

- ・次に田中と神藤が6月8日の慶應義塾大学訪問について報告しました。名刺交換会などについての意見をホームページ上でお願いします。
- ・次にセッションで議論をおこないたいテーマが議論されました。テーマとしてさまざまなものが出ました。（これは、係の方がホームページに載せて下さい）
- ・前金の追加15000円は金曜日までに、センターの「センター長室」にいる事務の方（石渡さんか岡田さん）に渡して下さい。もし留守の場合は神藤ほかセンターの研究室をお願いいたします。
- ・前金1万円、新幹線代15280円まだの人、早く支払いをお願いします（センター長室の石渡さんか岡田さん、または神藤ほかセンター教官まで）。

⑨ 6 / 16（主要担当：神藤）

- ・まず、京都駅の集合時間についての説明がありました。
  - 6月18日午前8時20分に京都駅新幹線八条口改札前集合。
  - 緊急の場合は、Kさんの携帯をお願いします。
  - なお、その日の昼食は各自用意（あるいは車中などで購入）してください。
- ・当日持ってくるもの  
パンフレット、保険証（またはそのコピー）、バスタオル（コテージにはついていないらしい）、伊豆箱根鉄道代往復1000円と緊急用のお金。お金払い込みまだの人はそのお金。タオルかハンカチ。筆記用具など必要なもの。
- ・パンフレットのコピーが配布されました。慶應の小宮山さん、ありがとうございました。  
当日持ってくること。
- ・新しい係が決定しました。
  - 名刺交換会：Mくん、Tくん
  - レクリエーション係：Iくん、Hくん
  - お酒：Rくん
  - 音響：Nくん（当日かけたいCDがあれば持ってきてください）
- ・名刺について。30部の名刺（どんなものでも）を持ってきてください。大きさはふつうの名刺くらいから葉書くらい。なお、これとは別に神藤が名札を持っています。
- ・レクリエーションについて話し合われました。決定事項は、レクリエーション係の方、書き込みをお願いいたします。
- ・セッションゼロの前の「幹部会」について。係の方、書き込み、お願いします。

⑩ 6 / 23（主要担当：石村）

- ・まず3グループに分かれて、合宿のことなどについて話し合いました。
- ・その後、全体で発表がありました。
  - 発表されたこと
    - グループ1：名刺交換会の意味づけ
      - 合宿の議論に関する教員のコメントを聞きたい
      - 学生の同質さ→京大とSFC以外だったら
      - 感動とパワー
    - グループ2：とりあえず楽しかった
      - 最後のセッションについて（感謝会になった？）

合宿→コミュニケーションが絶対に保証されている異常な場？

発言しないことの意味

後期をどうするか→何かやりたい

強制力をもたせない

前期を振り返りたい（学問との結び付けるなど）

教官が参加する？

グループ3：合宿は孤独だった

「集団として」から「個人として」へ

学生の力と教官の勇気とサポート

場の提供→そこで共通基盤を作れた

・メーリングリストについて→作る方向

・次回について

○レポート（教官および教コミ学生が見る）を書いてきてください。詳しくは石村先生の書き込みをご覧ください。

⑪ 6 / 30（主要担当：石村）

・まず感想文が集められました。

・全体討論

○ホームページ上の難しい話題について

○ホームページ：「おしゃべり」か「レポート」か

○合宿後、「おしゃべり」だけになった

○よく分からない言葉でも使ってゆくうちに誰かが反応してくれる

○書き言葉は残るのでおくびょうになりがち

○学問的なことをやわらかい言葉で書けるか

○ホームページに「学問の部屋」を作る？

○まずさぐりあいがあって、その後合宿があり、さらにその後お互い分かっている状態でほがらかな会話になっている

○ほわっとした感じで学問的な話をしにくい人がいた？

・グループ別討論

○生きる意味について

話し合うことのつらさがあった

○セクシュアリティ

生物学的性差→認識の共有（性の線引き）→いごちの

悪い人の出現→性の線引きが変わる

理論というところまでいけなかった

助け船（教員の助け）がなかった

○非言語的コミュニケーション

主客転倒→笑い

時間をかけたら最終的な結論が出る（先生いなくてもよい）

目標を定めて議論する人には議論しづらかった

・メーリングリストについて

○京大専用：開設する

○KKJ全体：ホームページでよい？

最近ホームページが重たいので必要？

→保留（このことについての書き込みよろしく）

・チャットについて

○定員に気をつけて試験的におこなう

・来週について

○1人500円持ってきてください（何があるのでしょうか？）

⑫7/7（主要担当：石村）

・合宿会計について、地見くんから報告（慶應の井上さんありがとうございました）

・合宿写真について、神藤から。お渡ししたもの以外については、センター神藤まで

・ホームページについて

○開けにくい？

○チャットの更新間隔について

・論文について

○論文作成のためにいのけんの人たちの感想も見たい？

○印刷、製本はどうするか？

○内容：複数でやってもよい

○論文（文章）は必ず書き、さらに作品（ビデオや絵）などをつけてもよい（CD-ROMに入れる？）

○期限はグループによって決める？最終期限は11月30日？

・学生へのインタビュー調査について、溝上から報告

・打ち上げパーティ